

1. 国内ハンセン病療養所の訪問及び入所者との交流

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大により、各療養所訪問交流ができなかった。
- (2) 多磨全生園秋津教会の主日礼拝を、三吉代表理事が12回、川崎正明理事が11回、棟居勇理事が6回、それぞれズームを用いて担当した（内11月～1月は一部対面）。なお、2月第2週以降以降3月中はコロナ感染症拡大のため休会となった。
- (3) 社員は、コロナ禍で直接療養所を訪問できない状況を踏まえて随時、入所者への手紙、電話等により問安交流を計った。
- (4) 新型コロナウイルス感染症緊急事態の一時解除を受けて、各療養所の対応についてアンケート調査を実施、結果を社員に報告した。

2. ハンセン病の正しい知識の啓発と患者・回復者の人権の擁護及び回復者の支援

- (1) 広報誌「ある群像」119号を5月に、120号を11月に発行し、ハンセン病への関心と理解を啓発し、合わせて当社の活動への協力・支援を求めた。
- (2) ホームページにより常時当社事業の情報を提供し、「ハンセン病」についての広報啓発活動を行った。
- (3) 療養所入所者数（2021年12月末現在）を調査し、社員に報告、またホームページに掲載した。
- (4) 「ハンセン病を正しく理解する講演会」を計画するも、コロナ禍のため開催を中止した。
- (5) ブックレット No.22（棟居講演）を発行した。
- (6) 「慰廃園」の記念碑を日本基督教団新栄教会に敷地内に建立した。7月
- (7) 理事、社員は地域や教会で啓発のための講演を行った。
6月棟居洋社員/横浜共立学園、10月三吉代表理事/女子学院、
11月三吉代表理事/神戸女学院2回。11月阿部春代理理事/花巻高等看護専門学校のオンライン講義
- (8) 川崎正明理事が「多磨」誌2021年各号に、長尾文雄社員が「楓」誌同年各号に寄稿した。

3. 海外ハンセン病事業への協力及び支援

- (1) 専門家派遣 看護師
阿部春代理理事が元ハンセン病回復者コロニー2カ所で定期的に行われている高齢者支援活動に協力した。
活動報告書 20年度 No.10～21年度 No.7
- (2) 当社のタイ国姉妹団体チャンタミット社に対し、下記の支援・協力を実施した。
 - ① 財政支援として1,600,000円を送金した（35年目）。
 - ② 「タイ国ハンセン病施設教育基金」をチャンタミット社と協力して管理・運用し、同社の申請に基づき、2021年度分、131,165円を送金した。
- (3) ズームによるチャンタミット社・好善社の理事懇談会を2回開催した。
また、両社の青年リーダーの交流会を2022/1月に開催した。
- (4) 理事、社員のタイ国訪問は、コロナ禍のためできなかった。